

ファイン・ファイネット

酒類・加工食品業界の業務効率化と標準化推進をめざす

FINE FINET

ファイネット発行

2022

Vol.60

September

[FINET INFORMATION]

2022年度 ファイネットユーザー会を開催

[FINET INTERVIEW]

酒類・加工食品業界標準化推進会議 幹事座談会

国分グループ本社株式会社様、
サントリーシステムテクノロジー株式会社様、
株式会社日清製粉ウェルナ様





(写真左から)
代表取締役社長 西井孝明、代表取締役専務 久我章良

2022年度 ファイネットユーザー会を開催

2022年5月24日(火)にファイネットユーザー会をオンラインにて開催いたしました。開催後1週間実施したアーカイブ配信を含め132社、254名と数多くの皆様にご視聴いただきました。改めて御礼申し上げます。

当日は弊社代表取締役社長 西井孝明の挨拶に始まり、続いて代表取締役専務 久我章良が事業方針と取り組み内容について説明いたしました。

ご講演は株式会社佐々木常夫マネージメント・リサーチ代表 佐々木常夫様に「待ったなし！ 変化の時代をどう働くか～デジタル化・ダイバーシティ・働き方改革～」と題してお話いただきました。

社長挨拶

本日はお忙しい中、大勢のみなさまにご参加いただき、誠にありがとうございます。代表取締役社長を務めております西井でございます。みなさまには平素より格別のご高配を賜り、改めまして心より御礼申し上げます。

～略～

コロナ禍により「デジタル化」は加速しましたが、新型コロナウイルスが収束したとしてもその波は今後も続いていくと思われまふ。我々、酒類・加工食品業界も例外ではありません。

新型コロナウイルスへの対策としてテレワークなどの多様な働き方が普及することで、従前より課題であった紙の業務からの脱却がより一層求められ、ユーザーのみなさまにおかれましてはEDI化の推進に日々取り組まれていることかと思ひます。

特に受発注や経理業務をはじめとした非競争領域については複数の企業が合同でEDI化の推進に取り組まれるなど、協調の動きも始まっております。

また物流課題においてもEDIを活用したトラックドライバーの待機時

間削減や検品レスなど、さまざまな取り組みが始まっております。

そうしたさまざまな取り組みの基となるEDIを実施するためには、VANサービスの安定稼働も欠かせません。昨年度、弊社VANサービスは稼働率100%と重大な障害を起こすことなくサービス提供を行うことができました。

またこの度、みなさまにご活用いただける業界共通基盤として「ファイル配信サービス」を新たなサービスとして立ち上げる予定でございます。弊社は引き続き「業界共有の情報インフラ」を提供する企業としてその役割を果たすべく、「円滑なサービス運営」「顧客満足度向上」「業界貢献」の3つの事業目標に取り組んで参ります。

1つ目の「円滑なサービス運営」は「業界共有インフラとしてサービスを安定的に運営し、利便性を高めていくこと」を目指して参ります。

2つ目の「顧客満足度向上」は「業界内へのより一層のサービス普及を通じてユーザーに貢献すること」を目指して参ります。

3つ目の「業界貢献」は「事業収益の範囲外においても、業界の標準化に貢献すること」を目指して参ります。

業界共通基盤として弊社も邁進してまいりますので、今後ともみなさまのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

商品流通VANサービス 2021年度 実績報告

- 1.データ件数……………**31.7**億件(前年比102%)
- 2.接続数※……………**12,766**接続(前年比103%)

※ユーザー間の企業単位でのデータ交換関係数

2021年度はEDIの需要がより高まり、EDI化の動きが加速しました。

取り組み内容報告

1. EDI推進支援

(1) VANサービス紹介動画

効率的に分かりやすくサービス内容をお伝えするために動画を制作 … 2021年7月30日公開済み

(2) 商品流通VANサービスの料金改定(値下げ)

みなさまの利便性向上、業務効率化に向けて平均6.2%の値下げを実施予定 … 2022年10月1日

2. 既存サービスの機能改修

(1) WebサイトログインIDの変更

ID体系の簡素化、機能強化のためログインIDを変更 … 2022年6月24日変更済み

(2) インボイス制度対応

WebEDI、PDF変換サービス、FAX変換サービスのインボイス制度対応を予定 … 2023年3月

3. 新たなサービス

ファイル配信サービス

企業間でやりとりされるあらゆる帳票の電子化を推進するため、業界共通基盤のサービスをリリース予定 … 2023年2月下旬 サービスの詳細は次ページをご参照ください

4. PSTNマイグレーション対応

NTTによるINSネットサービス終了を受け、従来手順(JCA手順、全銀協BSC手順、全銀協TCP/IP手順)からインターネット手順への移行を推進

ご講演

「待ったなし! 変化の時代をどう働くか ~デジタル化・ダイバーシティ・働き方改革~」

当日のご講演では、デジタル化・ダイバーシティ・働き方改革などの社会課題に、今後どう立ち向かうかという内容を中心に詳しくご講演いただきました。

株式会社佐々木常夫マネージメント・リサーチ 代表 **佐々木 常夫** 様

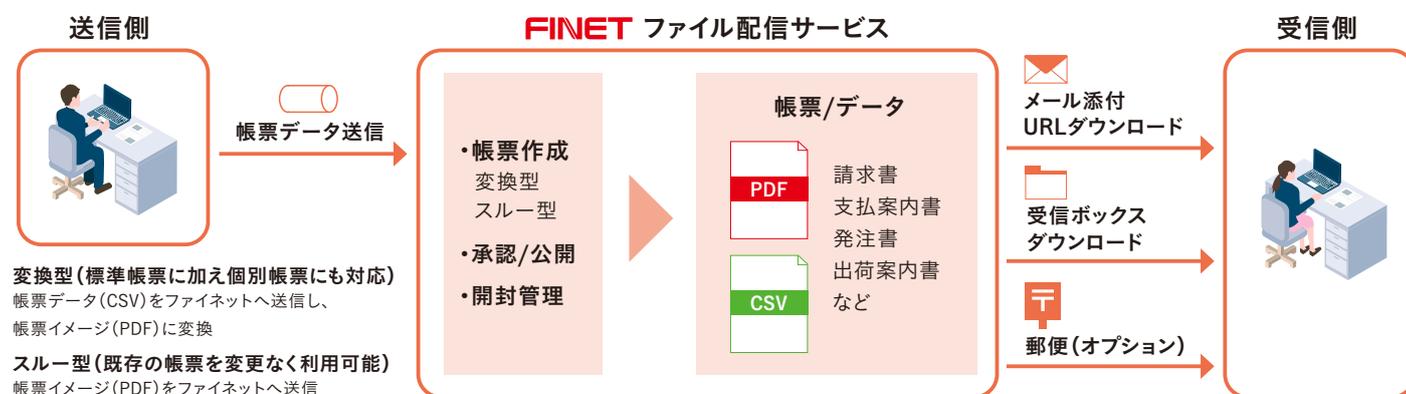
秋田市生まれ。6歳で父を亡くし4人兄弟の次男として母の手ひとつで育つ。
自閉症の長男とうつ病の妻を持つ。肝臓病をも患う妻は20年の間に43回もの入院、3回の自殺未遂を起こす。育児、家事、介護に追いかける状況の中で、破綻会社の再建やさまざまな事業改革に取り組む。2001年、同期のトップで取締役就任。2003年東レ経営研究所社長に就任。その著書『ビッグツリー 私は仕事も家族も決してあきらめない』が反響を呼び、さまざまなメディアに取り上げられ、2011年ビジネス書最優秀著者賞を受賞。



新サービス ファイル配信サービスのご案内

1. ファイル配信サービスとは

企業間でやりとりされるあらゆる帳票を電子化し、Webやメールでの配信を実現するサービスです。本サービスはPDF変換サービスを包含し大幅に機能拡張したサービスとしてリリースいたします。



2. ご利用メリット

(1) 各社の帳票電子化を推進

- ▶ あらゆる帳票の電子化に対応(請求書、支払案内書、発注書、出荷案内書など)
- ▶ スムーズな利用開始に向けて各社の個別帳票にも対応

(2) 複数企業間での帳票授受を前提とし送信側/受信側ともにメリットを享受

送信側

- ▶ 複数企業宛のデータもファイネットにまとめて送信
- ▶ Host送信(インターネット手順等)にも対応しており、EDIと同様に業務の完全自動化を実現

受信側

- ▶ 1つのIDで複数企業からのファイルをまとめて受信および管理が可能
- ▶ 送信側が標準形を利用することにより、同一形式の帳票/データフォーマットで受信が可能

(3) 利用料金は原則送信側負担とし、先行サービスと比べても競争力のある料金設定

- ▶ 初期費用や月額費用は不要、標準帳票をご利用の場合は個別帳票よりも安価な設定に(その他オプション機能あり)
- ▶ 受信側はファイネットの会員/非会員を問わずに利用可能

(4) 酒類・加工食品業界の特性や商慣習にフィット

- ▶ 帳票/データフォーマットは日食協標準に準拠し業界特有のニーズに対応(請求書の複数リポート対応など)

(5) 電子帳簿保存法にも対応(オプション)

- ▶ 送信した帳票は最大11年間保管でき電子帳簿保存法の各種要件にも対応(標準は6か月保管)

2023年2月下旬

サービスリリース予定

ユーザーアンケート報告

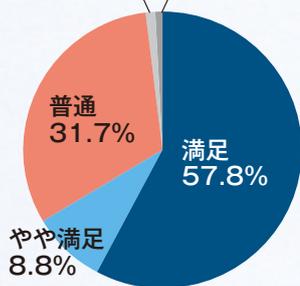
本年2月にユーザーアンケートを実施いたしました。多くのユーザー様にご協力をいただき誠にありがとうございます。ご回答頂いたユーザー様にはアンケート調査報告書(全30ページ)を差し上げました。次回、ユーザーアンケート実施の際は、ご協力の程よろしくお願いいたします。
今回のアンケート調査報告書から一部抜粋してご紹介いたします。

VANサービスの品質について

Q 現在の稼働状況についてどうお考えですか。

メーカー

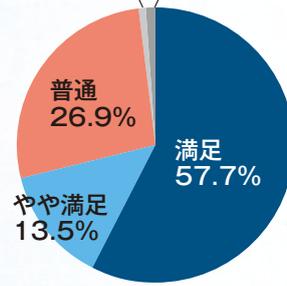
やや不満 1.0% 不満 0.7%



(N=306)

卸

やや不満 1.0% 不満 0.9%



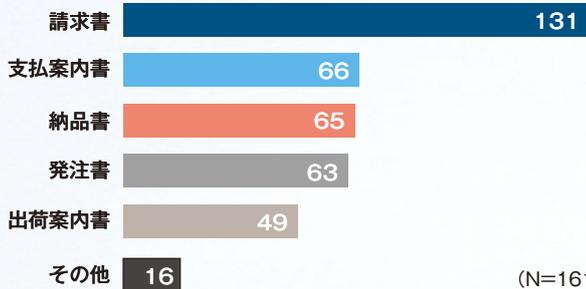
(N=104)

約7割のユーザー様にご満足いただいておりますが、より一層の品質向上に努めてまいります。

帳票の電子化について

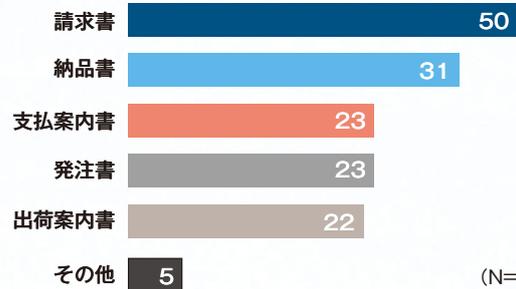
Q 電子化されたい帳票等があればお聞かせください。(※複数回答可)

メーカー



(N=161)

卸



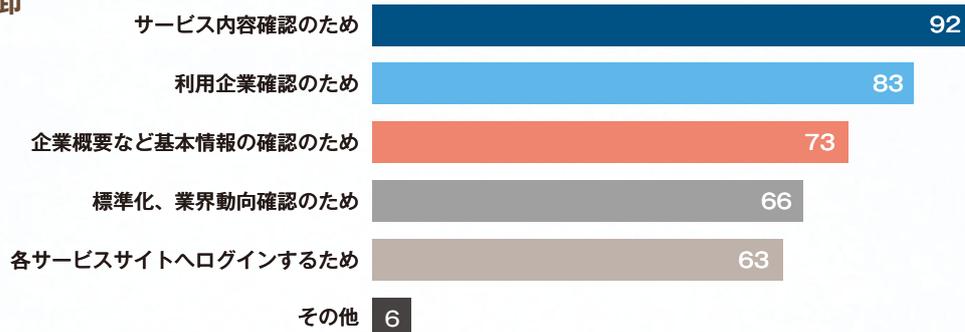
(N=61)

請求書の電子化を希望するユーザー様が多いようです。
2023年2月下旬にサービスリリース予定のファイル配信サービスを是非ご活用ください。

弊社コーポレートサイトについて

Q 弊社コーポレートサイトは主にどのような目的にご覧になられますか。(※複数回答可)

メーカー、卸



(N=339)

コーポレートサイトではVANサービス紹介動画も公開しております。是非ご活用ください。

[ファイネット VANサービス紹介動画](#) 🔍

酒類・加工食品業界標準化推進会議

幹事座談会

国分グループ本社株式会社
情報システム部 グループ長
上野 智也 様

サントリーシステムテクノロジー株式会社
ビジネスサービス部
澤谷 宗隆 様

株式会社日清製粉ウェルナ
経営企画部 IT課長
飯田 貴俊 様



酒類・加工食品業界標準化推進会議（略称：標準化推進会議）は、2003年秋に設立され、業界の標準化推進母体を標榜し、もうすぐ20年が経過しようとしております。直近では、2020年春ごろからの新型コロナウイルス禍を乗り越え、Withコロナ、共生の時代へと進む中、インボイス制度対応も目前となり、まさに協調と競争、競争領域以外のあらゆる事柄の標準化により、無駄を省いていきたいところです。

そのような状況の中、今年度の幹事企業3社、国分グループ本社様、サントリーシステムテクノロジー様、日清製粉ウェルナ様にご参集いただき、標準化推進会議のこれまでとこれからについて、お話を伺いました。（本文中敬称略）

*酒類・加工食品業界標準化推進会議の詳細は、「FINE FINET Vol.56」(https://www.finet.co.jp/finenet/pdf/FINE_FINET_VOL56.pdf)をご参照ください。

標準化推進会議の評価について

一まずは、これまでの標準化推進会議の活動、成果を踏まえ、それぞれのお立場から、簡単に評価いただきたいのですが。

上野 標準化推進会議のメンバーとなり、3年目となりました。業務では出荷案内データや販売実績データを扱うシステムの保守サポートも行っておりますが、会議でのメンバーのご意見やアンケート結果などにより、各社のコード体系の状況、運用上の制約などを把握できるようになりました。

昨年より幹事を担当させて頂いておりますが、データ種やデータの送信側・受信側のそれぞれの立場を考慮し、標準化とは何か、今一度検討していきたいと思っております。

澤谷 従来から導入が進んでいたEDI受発注や出荷案内といった既存のデータ種に加えて、販売促進金EDIという新しいデータ種の標準化推進、導入推進により、業界全体として販売促進金関連業務の標準化・効率化が進んでいる認識です。

サントリーでは、販売促進金額の9割を占める卸店と早期に販売促進金EDIを導入でき、非常に高い効果を上げています。

また、2019年9月より、それまで酒類食品全国コードセンター（SSZCC）で有料にて運営していた統一取引先コードの管理業務をファイネット社に引き受けていただき、無料で提供いただいております。それ以来、統一取引先コー



SUNTORY

澤谷 宗隆 様

酒類・加工食品業界標準化推進会議（略称：標準化推進会議）



ドの付番ルールの維持管理が標準化推進会議の統一取引先コード運営部会にて継続して行われており、それにより業界の統一コードの品質が維持・担保されていることは、業界として、たいへん重要なことと感じています。

ただ、大手のメーカー・卸店間では、日食協* 標準EDIフォーマット、標準コードでEDI化が進んでいる一方、中小のメーカー・卸店間への導入推進は、停滞している印象を拭きません。

日食協*：一般社団法人日本加工食品卸協会

飯田 当社は、常温／低温の家庭用商品の扱いがあり、多くの卸店とお取引をしています。日常のタイムスケジュールの中で迅速かつ正確に処理をする際には、各データ種の標準化の恩恵を享受していると言えます。

近年は、より一層のデジタル化による大量処理と省力化が求められる状況になり、各社とのデータ連携（オンライン化）が欠かせないと感じています。過去からメーカー、卸店両者で進めてきた標準化のメリットは、一つのピークを迎えているのではないのでしょうか。

—「標準化のメリットは一つのピークを迎えている」について、少し補足いただけますか。

飯田 あくまでも当社のケースとなりますが、フォーマットやコード、接

統方法は、大手メーカー、大手卸店を中心とした会議体の先導役が推進してきたわけですが、その基礎環境が整備されてきたからこそ、近年のコロナなどの影響下でEDI導入(Web-EDIを含めて)が積極的に進んだと思います。

業界においても標準化推進会議で長年にわたって蒔いた種の一回目の大きな実りの時期が今回来たのではないのでしょうか。

標準化推進会議の今後について

一次に、今後の標準化推進会議に期待することや幹事として、この会議体で実現したいことをお聞かせください。

上野 昨年開催されました「日食協インボイス制度対応 企業間取引の手引き」の勉強会では、オンラインということもあり、メーカーも卸店もたくさんの方が参加され、知識の共有、意見交換を行うことができました。勉強会だけでなく、フリートークのコーナーもありますので、誰もが気軽に質問でき、気づきや改善に繋がられる場となるよう、幹事として尽力していきたいと思っています。

澤谷 酒類業界では、すでに存在している統一取引先コードや商品識別コードのSDPコードにて、標準化が進んでいますが、一方、加工食品業界では、いまだに企業識別コードも商品識別コードもプライベートコードが主流です。加工食品業界における標準コードの確立・導入推進の旗振り役を標準化推進会議には期待したいです。

加えて、今まであまりできていなかった卸店・メーカー間での課題認識の差異の確認等を進めることにより、EDI化やフォーマット・コードの標準化の敷居を下げることに繋がればと思います。

また、他社のEDI進捗状況、業界動向や導入ノウハウ等の共有、インボイス制度対応等の業界全体の取り組みに関しての旗振り役や情報共有を通じて、標準化推進会議が参加メンバー、各社に取って、価値のある場になることを期待しています。

—「標準化推進会議が価値のある場になる」とは、具体的にどのようなことでしょうか。

澤谷 国分グループ本社様と少し似ていますが、やはり、目標に掲げている「自分たちの会議体との意識」の醸成ではないでしょうか。聞きたいことがすぐ聞けて、言いたいことがすぐ言えて、自分たちにとって役に立つ会議体となることと思います。



日清製粉
welpa

飯田 貴俊 様

一日清製粉ウェルナ様は、前の質問になりますが、今後の標準化推進会議に期待することや幹事としてこの会議体で実現したいことを教えてください。

飯田 たとえば、受注から発送における物流では、業界総じて課題となっており、複数のメーカー製品の共同配送も進んでいるところです。それを拡大していくためには、物流企業(部門)に正確かつ複数のデータを受け渡すことが必

須であり、今後も加工食品業界でもニーズが高いと思います。

EDIの標準化は、そのような課題へのデータ提供をも見据えたものとしても進めていきたいと思っています。また、接続数(社数)を最大化するには、接続開始に至る企業にとって、利用メリットが簡潔かつ明快、スモールスタートであることが必要です。多くの企業に対しスタンダードモデルとしての側面を持つ標準化が提供できればよいと考えています。

標準化推進会議の業界貢献度は

—最後に、「酒類・加工食品業界標準化推進会議」との会議体名称ですが、酒類・加工食品業界にどれくらい貢献しているものか、みなさまの感想を聞かせてください。

上野 私ども卸店では、日食協にて、卸店にかかわる課題の検討、協議を行っておりますが、標準化推進会議とも深く連携しております。かつて標準化推進会議の物流情報検討部会にて、事前出荷情報(ASN)のフォーマットの検討を行い、日食協へ提案し、承認された事例もございます。このように、メーカーと卸店が一緒になって検討し、業界へ提案できる場は、たいへん貴重であると感じています。

澤谷 先程も申し上げましたが、すでに最初のEDI開始から相当の時間が経過しています。残念ながら、その頃は、コード等の標準化よりも、まずはEDIの開始が優先されていて、したがって、方言と言われるような個別の部分最適が今も残っています。

これを全体最適とするためには、標準化推進母体が必須であり、まさに標準化推進会議がそれに当たるのではないかと思います。

飯田 標準化推進会議は、メーカーや卸店にかかわらず時世に沿った課題、たとえば、軽減税率対応などの業界の課題を確認したこと等、解決に向けた一助を担う場として長く貢献してきたと考えています。国内の主要メーカーおよび卸店企業が参加していることが、課題に対する広い視野を共有化し、最適解を導ける会議体になっています。今後も酒類・加工食品業界に貢献いただけることと期待しています。

—本日の貴重なご意見を踏まえ、事務局として、幹事、メンバーとも一体となり、これからの標準化推進会議をより一層、酒類・加工食品業界にとって有意義な会議体として認知されるよう尽力して参ります。

幹事のみなさま

本日は、お忙しい中、ご参集いただきまして、誠にありがとうございました。



国分グループ本社株式会社
上野 智也 様

FINE FINETの送付先等の変更について

今回、ご送付いたしております「FINE FINET (ファイン・ファイネット)」の宛名や部数の変更等がございましたら、以下までご連絡ください。

【連絡先】

株式会社ファイネット 営業推進部 e-mail : marketing-promotion@finet.co.jp

ファイネットでは、「インターネット手順」もしくは「専用線接続サービス」への移行を推進しています

東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社(以下、NTT東西)の公表内容

- ・公衆交換電話網(PSTN)からIP網への移行を2024年1月より開始
- ・同時にINSネット(デジタル通信モード)の提供を終了

これにより長い間EDI通信で利用されてきた「全銀協TCP/IP手順」などの通信手順は、NTT東西以外の電話回線でデータ交換をご利用の場合、2022年6月以降は処理遅延が発生する可能性があります。

また、2024年1月からはNTT東西を含めた全ての電話回線のデータ交換で処理遅延が発生し、通信品質が低下することから、弊社では全銀協TCP/IP手順のサポートを2023年11月末に終了させていただきます。なお、JCA手順および全銀協BSC手順のサポートは2022年11月末に終了いたします。

サポート終了後は弊社との通信ではご利用いただけなくなりますので、期限までに「インターネット手順」もしくは「専用線接続サービス」への移行をお願いいたします。手順移行に関するご質問・ご相談等がございましたら、ヘルプデスクまでお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

ファイネット ヘルプデスク  0120-091-094 (年中無休7:30~23:00)

FSC®認証紙と植物油インキ使用のお知らせ

環境に配慮した取り組みとして2022年5月1日発行の「FINE FINET」59号より「適切に管理された」木材からつくられたFSC®認証紙および植物油インキの使用を開始しました。

〈FSC認証〉

地球環境保全活動の中でも森林資源を守るために定められた認証であり、持続可能な森林活用・保全を目的とした「適切な森林管理」を認証する国際的な制度

〈植物油インキ〉

印刷インキ工業連合会が定めた再生産可能な大豆油、亜麻仁油、桐油、ヤシ油等植物由来の油、およびそれらを主体とした廃食用油等をリサイクルした再生油で作られたインキ



FINE FINET (ファイン・ファイネット)

Vol.60 2022 September 2022年9月1日発行

[発行](株)ファイネット 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-9-1 日本橋三丁目スクエア6階
TEL.03-5204-2600 [編集・発行責任者] 久我 章良

<https://www.finet.co.jp>